



祝祭日には国旗を掲げましょう。

大阪天満宮社報 第62号

てんまてんじん

涼風進上

平成二十四年 盛夏



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮



子供遊 「天満宮御祭礼 御迎船人形之圖」

表紙解説 子供遊「御迎船人形之圖」	2 頁
「ふるさとの祭」切手に天神祭	3 頁
表門通りにあつた鳥居	5 頁
HOPEゾーン「石畳完成」	7 頁
フレデリック・スター	8 頁
「三ノ鼓」奉納	10 頁

表紙解説

「天満宮御迎船人形之図」

左の「やす名」は、竹田出雲作の人形淨瑠璃『蘆屋道満大内鑑』に登場する「阿倍保名」、右の「与かん平」は、同外題中に、保名の忠実な家臣として登場する「与勘平」のことです。

同外題は、享保一九年（一七三四）に道頓堀の竹本座で初演され、のち歌舞伎にも翻案されて人気を博しました。物語は、和泉国信太の森（しおだのもり）の白狐が「葛の葉」という女性に化け、保名と契つて「安倍清め」を産んだ伝説を脚色したもので、平安時代に実在した陰陽師（九二一～一〇〇五年）ですが、その活躍ぶりは、数年前に映画やテレビドラマの『陰陽師』に描かれましたから、ご存じの方もおおいことでしょう。

この絵の作者は、右下に「魁春亭貞芳」と見えます。江戸後期の島之内心齋橋通に住んだ浮世絵師で、歌川貞芳とも名乗りました。生没年は不詳ですが、天保～嘉永（一八三〇～五四年）期に活躍したことが解っています。役者絵のほかに、絵入根本（ねほん）歌舞伎や淨瑠璃の台本）や絵本などに挿絵を描いたほか、この表紙の絵のように摺物（すりもの一枚物の浮世絵版画）も残しています。

タイトルは「御迎船人形」となっていますが、そのポーズは人形を写したものではなく、舞台の一場面を表しているようです。「子供遊」と冠しているように、特に与勘平は可愛く描かれていますね。



『天満宮御神事御迎船人形図会』よりの忠実な家臣です。与勘平の身分は「奴（やつこ）」ですが、芝居では重い役と呼ばれる頭（かしら）があるのは、右の役名による意していますのは、与勘平のほかには、羽柴秀吉・八幡太郎義家・猩々・酒田公時・三番叟・鬼若丸・安倍保名・木津勘助・閔羽・鎮西八郎・雀踊・素盞鳴尊の十二体で敵役などとして登場します。

なお現在、授与所にご利用される場合は、三枚目の役者（幹部級の役者）が務めます。文楽人形に、「与勘平」と呼ばれる頭（かしら）が文楽人形に、「与勘平」と呼ばれる頭（かしら）が務めます。

「与勘平」

去る平成十四年の「菅原道真公百年」を記念するために、同十二年から毎年一体ずつの御迎え人形レプリカを謹製し、皆様に授与して参りましたが、今年は十三体目の「与勘平」を準備させていただきました。「与勘平」は、上欄に記しましたように、「蘆屋道満大内鑑」に登場する「安倍保名（あべのやすな）」です。



浪速菅廟吟社詠草

雪稜 松村暁二撰

三月席題 梅園詩會 雪稜

松村暁二

八尾市

一月課題 御題 岸

豊陽

荒木英一

奈良市

雪稜

松村暁二

八尾市

奉納 第八集 記念切手 「ふるさとの祭り」

贈呈

大阪天満宮 様

郵便事業株式会社は、各地の特徴を生かした切手を発行しています。このたび天神祭を記念して、天神祭「ふるさとの祭り」を発行しました。ご存じの方もおおいことでしょう。

この絵の作者は、右下に「魁春亭貞芳」と見えます。江戸後期の島之内心齋橋通に住んだ浮世絵師で、歌川貞芳とも名乗りました。生没年は不詳ですが、天保～嘉永（一八三〇～五四年）期に活躍したことが解っています。役者絵のほかに、絵入根本（ねほん）歌舞伎や淨瑠璃の台本）や絵本などに挿絵を描いたほか、この表紙の絵のように摺物（すりもの一枚物の浮世絵版画）も残しています。

タイトルは「御迎船人形」となっていますが、そのポーズは人形を写したものではなく、舞台の一場面を表しているようです。「与勘平」と冠しているように、特に与勘平は可愛く描かれていますね。

この切手は切り絵作家である久保

修氏が天神祭のイメージを切り絵で表現したもので、船渡御や花火がモチーフとなっています。この製作には切手専門のデザイナーである玉木明氏が参画されていて、オフセット五色の版式で八百万枚（八十万シート）が六月十五日から全国で販売されています。

日本中の皆さんに天神祭をより一層身近に感じていただける機会となるでしょう。大阪を離れている方への暑中見舞いなどに使われては如何でしょうか。

日本中の皆さんは、天神祭をより一層身近に感じていただける機会となる

でしょう。大阪を離れて

いる方への暑中見舞いなどに使われては如何でしょうか。



ホープゾーン 石置完成

石畳とする工事の完成記念行事が開催されました。

これは大阪市と地域住民が共同で行う「大阪市天満地区ホープゾーン事業」の一環で「天満天神新門界隈石畳道路修景整備事業」の完成を報告しあ披出しする行事として当宮総代である盛岡淑郎氏（石畳実行委員長）をはじめ天神橋二丁目商店街

完成記念のイベント

工事が完成するころになつて、委員会では、関係する地域の住民のみなさんやこの街を訪れる人々にこのことを広く知つて頂くために行事を



石置整備とは

五月十一日から十三日の三日間に

石置整備とは

午前九時に組合代表が本殿で開催奉告祭を斎行しましたが、あいにくの雨模様だったためか参拝者は少なめでした。それでも受付の開始から午後三時の「人形奉謝祭」までには、百五〇件余り合計千体ほどの中には、斎主の奏上する祝詞の間、ずっと手を合わせてお祈りされているご婦人の姿も見受けられました。人形の数々の想い出を浮かべておられたのでしょうか。

それぞれの想いの籠もつた人形も、ときには手放さなければならない事情が生じるものです。想いが深ければ深いほど、簡単に捨て去るのは忍びないものです。物を大切

五月十五日、第二回「大阪天満宮人形祭」が、境内の特設会場において開催されました。

「人形祭」は、節句人形など様々の人形がその役割を終えた後に、その古人形に感謝して収納する祭儀です。関西節句人形工業協同組合（小出保三理事長）のお申し出により、昨年から始められました。

午前九時に組合代表が本殿で開催奉告祭を斎行しましたが、あいにく



上方日本酒ワールド 2012

行おうとの意見によつて、地元商店街が中心となつて運営されました。行事は三日間にわたつて開催され初日の十一日午前十時からは、当宮神職による竣工祭並びに交通安全祈願祭が斎行され、天満地区ホーリープローン協議会の八十島義郎会長はじめ多数の参列がありました。引き続き今回の改装は町並みの変化ではないのですが、それでも石畳敷きになつただけでも、ずいぶんと趣きは変わるものですね。次にお参りの時はぜひご確認ください。

や大阪市都市整備局
からのホームページ
事業のパネル展示の
説明などが行われた
ほか、当宮や地域か
らの寄付金に対する
市長名での感謝状も
伝達されました。

その後の二日間は、商店街での落語や街角ライブなど、様々な催しが繰り広げられ、また全国各

地の「ゆるキャラ」も大集合して商店街をパレードするなど、大いに盛り上がりました。このほか、境内では「子ども広場」として「ボールすべ



ライしている様子が目に浮かびます。「実際大坂人諸君が田楽食ひの巧妙さには、只管感服の外は無い」と書き、また、この田樂なるものは「彼のコメディカル・トラベラーの彌次喜多と共にその当時から名高」いものだ、といういわくも、東海道行脚をしたことのあるスター博士には気に入ったエピソードでした。

スター博士

藤里好古との親交

スター博士と大阪天満宮を取り持ったのは、松浦武四郎の奉納した神鏡でした。しかし、実際にスター博士の大坂天満宮訪問を実現させた

のは、のちの大正十五年（一九二六年）、大阪天満宮の嘱託として奉職することになる藤里喜一郎（好古）です。藤里好古は大阪朝日新聞の社員に、スター博士が大阪へ来るならぜひとも大阪天満宮に連れて来てほしい旨、交渉しています。実はこのことには、スター博士が大阪へ来るなら古の祖父である藤里喜右衛門の名前があるのです、藤里家は大阪天満宮の氏子であったことがわかります。スター博士は『山陽行脚』の中で、藤里家について少しの手がかりを残しています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

並べられてあつた。此所で、

令息氏の蒐集に成つた絵馬な

どを拝見して居ると、あら

不思議や、今の今迄一本の丸

太であつた木材が、何時の間

天満宮社報』第37号（昭和2年7月）に掲載された『大阪天満宮天神祭と流鏑馬式史料（近代一〇）』の「番外5『童講社盟約』」（三三六）には、講員として好古の祖父である藤里喜右衛門の名前

が記載されています。

「氏の家は、神器商と云ふ

多くの無い商売で、神前に供へ

る種々の器具が、所狭き迄に

あの人もこの人も



久次米英二さん

旧友と酒をくみつ、聲高に
口論なせりおでんの串ぶり

顧問 關俊一

竹墨の窯出し近き炭焼場
煙のむこふに「子山見ゆ」

大阪 大北 滋保

毎年七月二十三日の「ギャルみこし」
の宮入りにも同行され、若者たちに
負けない笑顔と元気を振りまき、天
神祭を盛り上げて下さっています。

生れし娘に若菜と名付けいとしむも
やや中學生たり母の背こえぬ
十余年治療にはげみ新春に
生れし子の名は若菜とた、ゆ

友を誘へり一杯の酒

選者 浅井與四郎

吹田 岩城 富子

みこし実行委員としてお祭にご奉仕
頂いていますから、まさに親子三代
にわたる「お祭り一家」だといえま
すね。

母ゆすりおでんの味のぬくもりを
かこむ家族のゑかほそろひぬ

堺 永田 民子

工作と絵画がご趣味の英二さんは、
天神祭が近づくと、ビールのアルミ
缶を材料に自身が製作された御輿
や、天神祭の絵画を店先に飾り付け、
祭礼の前景気を盛り上げて下さいま
す。今年は、ぜひお楽しみください。

朝採りの若草に映ゆる白味噌の
学舎を巣立つ乙女の晴れやけく
背に負はれキザハシ上る祖母の目に
氷雨降り来てうるむ御佛

二羽のつばめの仲良き姿
幹事 森本美也子

西宮 牛田眞理子
神戸 鈴木 敬子

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

八十八歳の誕生日
吹田 岩城 富子

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 中瀬 央子
瀬川 里江

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

東大阪 中瀬 央子
瀬川 里江

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 中瀬 央子
瀬川 里江

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

雛の待つ巣に近づくと急降下
燕の姿春風に舞ふ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

若菜摘みそのさやけきを粥となす
七日正月柔らかく過ぐ

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

朝露に光る若葉のみづみづし
老いし眼にやさしく映ゆる

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

霜うげて甘味ましれる若菜添え
七草がゆで無病息災

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

辰年あくる我が家の雑煮

東大阪 宝藏寺京子
八十島義郎

有難いことですね。
久次米家の皆さまのような、地域
の皆様の心意気によってお祭は支え
られ、そこから次世代へ継承されて
いくのだと改めて感じます。本当に

竹のこと眞直ぐに伸びよと育てられし
親の心に添はむと勵む

